

産業建設常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会産業建設分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／木下敬夫
- ◆副委員長／徳田正則
- ◆委員／佐藤喜典、垣内武司、永崎 陽  
今田勇雄

豪雨による河川氾濫（日用川）

### 主な審議内容

#### 【議案第75号】

##### 平成30年度七尾市一般会計補正予算(第1号)

###### ◆特定空き家について

- ㊦いつ道路に崩れ落ちてくるか分からない状態となっている建物が市内の一部町会にあるが、特定空き家となるのか。
- ㊧相手先と交渉をして、なかなか壊していただく見込みがないものを特定空き家としている。今のところ、その物件は該当していないが、特定空き家となるか確認をしたい。
- ㊨各町会から、かなりの相談が寄せられていると思うが、こうした中で強制代執行はどのような手順で考えているのか。
- ㊩一昨年に町会へ依頼をして調査したところ、約1,700件という話があり、その中でも危険な建物が約400件となっている。さらに、所有者が判明したものは270件となる。危険なものは順次特定空き家に指定し、手続きを踏んで対処したい。
- ㊪放置したままで手をつけずにいると、段々特定空き家が増えていく。そして、放置してある特定空き家が増えれば多く壊れてくる。しっかりと対応してほしい。
- ㊫特定空き家の補助制度で毎年20～30件ほどが壊されている。補助制度を使って自分で壊していただき、どうしても出来ないところは市で壊すことになる。現地を見ながら市民の安全安心を守る形で今後も取り組む。
- ㊬この事業の財源は一般会計からの繰り出しで、さらに増えると思うが、国の補助制度はないのか。
- ㊭来年、空き家対策計画を作成するが、そのあとに公園を作るとか目的がないと、補助対象にならない。



#### 【議案第92号】

##### 平成30年度七尾市一般会計補正予算(第2号)

###### ◆農地の災害について

- ㊦農地の被害について、小規模災害などに該当するのかの判断基準はどのようになっているのか。
- ㊧金額の規模については、国の補助基準は40万円以上となっており、国の補助を受けて地元負担は1割となる。それ以下の小規模災害については、機械借上げなどの対応を考慮しており市負担8割、地元負担2割となる。
- ㊨被災した箇所は、まとめて1エリアとして認められるか。
- ㊩被災した箇所から、150メートル以内のものは1箇所として扱い、それが40万円を超えていれば、国へ申請している。
- ㊪農作業が出来ないような災害の箇所はあるのか。
- ㊫用水が確保できなければ、農作業ができないことも考えられるので、復旧作業については用水を重点的に進めていきたい。



豪雨による農地被害（用水路）

#### 【報告第14号】

##### 法人の経営状況の報告について

###### ◆七尾フラワーパークの経営状況について

- ㊦フラワーパークについて、委託料が減った理由は、利益がその分、出たからなのか。
- ㊧当期純利益が出ており、繰越利益剰余金も年々増えている。それに伴い、指定管理料も昨年より30万円減らしている。
- ㊨新たに作ったゴルフ場の効果があったということなのか。
- ㊩従来からのグラウンドゴルフ場に加え、パークゴルフとマレットゴルフの施設を増設したことによる効果も大きいと思う。